



初代（右）、2代目（左）、そして三代目（中央） 川上重彦教授退任祝賀会にて

金沢医科大学形成外科学教室
同門会

Letter No.1

2018.4

特集

金沢医科大学形成外科学教室同門会の ニュースレターを創刊します

「あの人どうしてるのかなあ〜て思うんやわあ」

2018年1月の同門会新年会での岡田忠彦先生（同門会会長）の言葉です。これをきっかけとし、同門会員の情報交換、交流の場としてニュースレターを創刊することにいたしました。



年1回の発行をめざします

大学主催の学会や同門会総会、新年会に、遠方からのご参加は難しいのが実状です。毎年春に年会費の依頼書をお送りしていますが、その際に同門会活動の報告や、同門会会員の近況をお伝えするニュースレターを同封できればと考えています。

当面は年1回春の発行を予定しています。

同門会会員の近況をお知らせください
文字数や内容は一切問いません。写真1枚でも結構ですので、先生方の近況をお知らせください。

〒920-0231

石川県河北郡内灘町大学 1-1

金沢医科大学形成外科

Mail: prs@kanazawa-med.ac.jp

FAX: 076-286-8915

2017年の出来事

2017年（平成29年）は金沢医科大学形成外科の2代目主任教授川上重彦先生の退任の年でした。これに伴い、教授選考が行われ3代目の主任教授に島田賢一先生が就任しました。また、同門会会長は川上先生から岡田忠彦先生に引き継がれることになりました。

2ページ

同門会員からのたより

会員の皆様の近況をお伝えします。今回は原稿が間に合わず、過去の会誌から若い同門会員に読んでもらいたい部分を抜粋して掲載しました。

3ページ

同門会事務局・医局からのお知らせ

同門会規約の改訂案が完成しました。
平成30年度同門会総会の日時が決まりました。
医局のホームページがリニューアルしました。
2018年度の新入医局員3名を紹介します

4ページ

2017年の出来事

川上重彦先生教授退任祝賀会

2017年4月22日 ホテル日航金沢

全国から形成外科学会の重鎮や同門、病院関係者など300名にお集まりいただき、川上先生とこれまで支えてこられた奥様をねぎらいました。高島茂樹先生(金沢医科大学理事長)、神田享勉先生(同 学長)、中塚貴志先生(日本形成外科学会理事長)、北山道彦先生(金沢医科大学病院院長)からご祝辞を頂戴しました。大学時代の同級生であるお二人が、乾杯のご発声(松本忠美先生:金沢医科大学理事)とお祝いの言葉(北川清秀先生:厚生連高岡病院院長)で会を盛り上げてくださいました。



島田賢一先生主任教授就任祝賀会

2017年9月16日 ホテル日航金沢

これからお世話になる大学、病院関係のご来賓をお迎えし、終止なごやかな雰囲気となりました。日頃協力して手術を行っている頭頸部外科の辻裕之先生、同世代の形成外科教授である田中克己先生(長崎大学)、手の外科やマイクロサージャリーの師である石倉直敬先生から激励のお言葉を頂戴しました。



祝賀会終了後に撮影 島田教授ご夫妻、川上先生と医局員(出向中を含め)

平成29年度 同門会総会

2017年5月28日 ホテル日航金沢

同門会規約第7条(主任教授が同門会会長を務める)の削除が提案されました。これに伴い、新しい同門会会長に岡田忠彦先生が就任なさいました。これまでの総会で承認された細かな修正点を盛り込んで同門会規約改正案を作成し、平成30年度の総会で承認を諮る予定です。



同門会員からのたより

皆様からの原稿を募集中です！

今回の原稿は

何人かに原稿を依頼したのですが創刊までに間に合わず、今回に限り過去の同門会誌から抜粋させていただきました。

[金沢医科大学形成外科学教室 同門会誌 - 開講 15 周年記念-]

柳下 邦男 先生 (故人)

昭和 43 年～44 年頃より、全国的に大学紛争の嵐が巻き上がり、金沢大学でもその例にもれず医局改革の兆しがみられました。皮膚科学教室でも、福代教授をも混じえ、医局員全体の話し合いが持たれる様になりました。その会で、ある日若手からのお願いとして、某先生が塚田先生に形成外科研修を系統的に学びたいとの発言がありました。～略～

塚田先生は「皮膚科を捨てても形成外科を学びたいという人が一人でもいたら、その人と共に勉強したい」と言われ、その様な人が居るか拳手を促された。その時、岩泉、赤羽両先生と私が拳手し、形成外科診療班が結成されました。程なく、暇先生も参加され、先生は形成外科診療班の最初の SITZE である砺波厚生病院に赴任され、活躍されました。

柳下幹男先生のコメント (次男、金沢医科大学形成外科助教)

父が塚田先生を敬愛し、形成外科診療班に入るという大きな決断をしました。この決断が、私を形成外科医の道へ導いていただいたことを強く感じ、身が引き締まる思いです。

北山 吉明 先生

手術の一部始終を徹底的に記載するように試みた。自分ではなく他人が読んでわかるように心がけた。このために、絵をできるだけ多く書くようにした。絵を描くにあたっては解剖書を参考にし、周囲の解剖学的構造についてあわせて学習した。～略～手術の前晩には幾度となくこのノートと解剖学書を読み返し、その都度不安と確信の入り混じった溜め息をついた。そして、これでいいはずだと何度も心に念をおした。念をおしたあと、決まって不安が再度頭をもたげた。そのたびに、手術記録を詳細に書くことの大切さを痛感した。確かに見てきたはずなのに、もう少し知りたい大切な事が書いてないのだ。やがて症例を積み重ねるにつれて、このノートの出番はなくなり、今では本棚のすみで大きなあくびをしている。

〈訃報〉

荒井正雄先生を偲ぶ

川上重彦

平成 30 年 3 月 1 日、福井県の三国で開業していた荒井正雄先生が亡くなりました。病が見つかり闘病生活を続けて 1 年半、謹んでお悔やみを申し上げます。

荒井君 (と呼ばせていただきます) とは、大学 1 年以來の付き合いであり、かれこれ 48 年になると思います。同じ福井県の出身ということもあり、大学入学後すぐに仲良くなり、自分にはない奔放磊落な性格を羨ましく感じていました。大学 2 年の時には二人でアパートを借りて、1 年間同棲生活を送りました。

金沢医科大学形成外科に入ったのも荒井君に誘われた結果でした。ただ、一緒に仕事をした期間はあまり長くありません。入局後、荒井君はすぐに 6 か月間の麻酔科研修に出て、荒井君が戻った時には私が麻酔科研修に出て、関連病院の勤務後大学に戻った時には荒井君は聖マリアンナ医科大学に国内留学に出る、などすれ違いが多かったように思います。

荒井君が福井県立病院の勤務を経て三国で開業した後は、仕事が忙しくなったせいか、一緒にしていたゴルフもしなくなったようで、ゴルフコンペにも参加しなくなり、同門会の集まりや大学の同級生の集まりなどで年に数回会う程度になりました。その際も、仕事を終えて三国から金沢へ来るため、遅刻の常習犯でした。葬儀の時、隣に座った同級生の言った言葉、「荒井は集まりにはいつも一番遅かったのに、こんな時だけ早く行ってしまっやな」、が胸に刺さっています。

最後に会ったのは、私の退任祝いの時でした。元気そうに見えたので、治療うまくいってるんやな、と安心していました。今から思えば、体調はあまり良くなかったのかも知れません。病状が悪いと聞いたのはこの 1 月頃からでした。ただ、亡くなる数日前には元気だという風の便りも聞いていたので、訃報に接した時は少なからず動揺しました。思えば、高齢者の仲間入りをした年代です。いつ向こうの世界に行ってもおかしくありません。

荒井！待ってるよ。出来るだけ遅刻して行くから。



左から中村和子さん (医局秘書)、荒井正雄先生、川上重彦先生

同門会の皆様へ

花粉の飛び交う時節となり、2017 年度もあと数日を残すところとなりました。

2017 年 4 月より、川上重彦先生より金沢医科大学形成外科教室を引き継ぎ、ようやく 1 年が過ぎようとしています。主任教授就任後、川上先生の退任祝賀会、そして自身の就任祝賀会などを経て、秋口よりようやく少しずつ慣れてきた気がします。

これまででは手術と形成外科関連の学会活動を中心に仕事をしてきました（川上先生の大きな背中の中で・・・）。教授就任後は、これらに加えて、大学および病院内での様々な仕事、そして教育（学生のみならず、初期・後期研修医）、形成外科の啓蒙活動、関連病院との渉外活動など、これまで経験したことのない仕事もすることになり、追いまわられながら何とかこなしている状態です。

またなんと言っても、金沢医科大学形成外科教室の顔として対外的に認知されるわけで、当然その言動にも責任と重みを感じています。

とはいえできることは決まっていますし、肩に力を入れすぎて空回りしてもいい仕事はできないので、「日々これ戦場」、そして「日々精進」の気持ちで頑張っていこうと思っています。

最後に、同門の諸先生にはこれからもお世話になります。至らないところも多々あると思いますが、どうぞ指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

金沢医科大学形成外科 島田賢一

同門会事務局からのお知らせ

同門会規約の改正案が完成しました

3月17日の幹事会で同門会規約改正案を取りまとめました。主な改正点は以下の通りです。

1. 第3条4の追加：留学生への奨学金授与など適切な事業
(以前は留学生への奨学金はありませんでした)
2. 第7条の「会長は主任教授とする」を削除
3. 留学生への奨学金授与施行細則を追加

平成30年度同門会総会の日時が決まりました

平成30年6月10日(日) ホテル日航金沢 16時～

金沢医科大学病院の顔が新しくなりました

エントランス棟が2017年7月に竣工しました。総合受付や外来の一部、入学式や卒業式、学会にも利用できる講堂などの施設が入っています。医局は相変わらず年季の入った臨床研究棟にあります。



医局からのお知らせ

ホームページが新しくなりました

<http://www.kanazawa-med.ac.jp/~prs/> から医局のホームページにアクセスできます。開催学会の情報もここからご覧いただけます。リンクをご希望の方はご連絡ください。

本年度は3名が入局しました

鳥居祐希：金沢大学卒業（金沢市出身）

趣味：お菓子作り

原野良平：富山大学卒業（砺波市出身）

趣味：温泉廻り

山本圭祐：産業医科大学卒業（金沢市出身）

趣味：ゴルフ

金沢医科大学形成外科同門会事務局

（金沢医科大学形成外科内）

〒920.0271 石川県河北郡内灘町大学 1-1

TEL076-286-2211（内線6526）fax076-286-8915